

あかつき

小田原市議会議員

加藤仁司市政報告 令和5春号

〒256-0803 小田原市中村原400

TEL:0465-43-0628

URL/https://katochan.info/

E-mail uin39360@nifty.com

令和5年3月議会予算特別委員会総括質疑より

小田原市の令和5年度予算を審議する予算特別委員会が開かれ、6日間の個別審査の後に総括質疑が行われました。

私の通告質疑内容を項目ごとにお知らせします。

1. 平和施策推進事業について

はじめに、平和施策推進事業についてを要約したものを下に記します。

Q1. 何故、平和施策推進事業が「多様性が尊重される社会の実現」として位置づけられているのか？

A1. 「多様性が尊重される社会の実現」とは全ての人が性別や国籍等の違いを超えて、共に生きていく平和な地域社会を目指すものであり、人と人、国と国が尊重し合うことが世界平和につながるものと考えている。総合計画では、この考えの下に平和施策推進事業を「多様性が尊重される社会の実現」に位置付けたものであり、予算書の表記についても総合計画との整合性を図っている。

Q2. 昨年からのウクライナで起きている戦争を平和パネル展で取り上げるつもりはないか？

A2. 本市では、平和都市宣言の理念実現に向け、平和パネル展を実施している。今後もこれまでの各種平和事業の取組を継続していきたいが、ウクライナの状況に市民が理解を深めることは大切であることから、平和パネル展に限らず、どのようなことができるか検討してまいりたい。



橘地域沼代にある上原重雄中佐の慰霊碑です。毎年ご命日の2月17日にお参りしていますが、土地を提供された林様により綺麗に整備されています。しかし、案内板が老朽化していることから市に改善を求める予定です。(R5.2.17 写)

一定の答弁の後の再質問として、ウクライナに限らず、世界で起きている紛争や暴動も平和を脅かす行為である。このような平和を脅かす数々の事例を提示するなど、幅広い認識の下での平和施策を講じることを求めました。

先の大戦で、尊い命を国家に捧げた英霊をはじめ、空襲や原爆により奪われた命を慰霊し平和を誓うことは当然の事です。戦時下の困窮、混乱の時代があった事を記録し、見てもらうことも大事です。ただ、そのような一面だけでなく、ロシアによるウクライナ侵略が現実となっている事や、他国からの威嚇や領土問題等、現在我が国が置かれている安全保障に関する状況を認識してもらうことも重要なのではないかとの思いで質問いたしました。

※その他の項目は裏面に続きます。

2. 地域コミュニティ推進事業と自治会活動活性化事業について

地域コミュニティ推進事業については、近年、担い手不足や自治会長をはじめ同じ方がいくつかの役職を兼任しているなどの状況があり、自治会役員の負担が減るところか増えている状況もある。自治会は任意団体であるが、以前から地域の活性化やイベント等を通じて地域の交流促進にも努めてきた。コミュニティ推進事業によって別組織が構成されている地域も多いが、行政の協力体制から地域の自主的な活動という視点が薄れているようにも見える。そこで、自治会や既成団体にコミュニティ推進事業に係る予算を自治会活動活性化事業費と合算して拠出したらいかがかと質疑。行政からは当面合算の予定はしていないが、昨今の情勢を踏まえ検討したいとの答弁がありました。コロナ禍によって2年間にわたり中止や延期を余儀なくされたイベント等の再開は喜ばしいのですが、人口減少、少子高齢化を認識しつつ、従来通りの活動に固執することなく、地元事情に即したコミュニティ推進を図ってほしいものです。

3. 家族形態や住宅需要の変化に基づく市営住宅の在り方について

本市は平成29年に策定された小田原市営住宅ストック総合活用計画に基づき整備を進めているが、近年は家族形態の変化や市営住宅抽選において下層階への入居希望者が集中するなど、新たな課題が生じている。そこで、従来当たり前だった公設民営や民設民営等、他市の例も研究したうえで運営の見直しを図る必要があるのではと質しました。答弁では、計画の見直し時期や次期計画策定時に他の運営方法も含め検討するとの答弁がありました。

4. 公衆便所管理事業における今後の整備について

今年2月に東京都渋谷区幡ヶ谷に設置された公衆トイレの一つには、女性専用トイレが無く、男用と共用トイレだけとなっているために、ネット上では様々な論議が巻き起こっているようだ。そこで、本市においては既存或いは新規トイレ整備に際し、渋谷区のような整備を行う予定があるか伺いました。

市では現在整備予定はないとの事ですが、渋谷区の公衆トイレについては、新しい形を示すものとして関心を持っているとのこと。更に、性別に関わらず、利用できる公衆トイレの整備等については、社会情勢や他市の動向を踏まえた上で慎重に検討する必要があるとの答弁でした。

渋谷区のトイレの問題は、女性専用トイレを廃止している事です。ネットの声でも「女性が安心して利用できない」「子供一人でトイレに行かせられない」「盗撮や犯罪の温床となりかねない」等、否定的な意見が聞かれており、男女の生態的な明確な区別を望む声を無視しての施策を本市においては断じて導入すべきではないと考えます。

【加藤仁司プロフィール】

昭和36年10月小田原市生まれ 中村原在住

下中幼、下中小、橘中学校、神奈川県立足柄高校卒業（第一期生）東海大学教養学部卒業
自民党衆議院議員故亀井善之秘書（10年7ヶ月勤務）

平成7年小田原市議会議員初当選（33歳）当選7回 小田原市議会59代・62代議長
かながわ民間教育協会顧問

小田原市日台友好議員連盟会長 小田原市防衛議員連盟会長

橘北地区青少年健全育成会副会長 自主防犯団体橘ブルーアイズ隊長

HP <https://katochan.info/>

